

文化財マップ

長門石・小森野・京町・篠山・
荘島・日吉校区の

長門石・小森野・京町・篠山・荘島・日吉校区の文化財

この地区で知られている最も古い遺跡は弥生時代のもので、大石町の速水遺跡で家の跡が見つかり、櫛原町の櫛原四丁目遺跡ではお墓が発見されています。その他には、京町の京町遺跡や明善高校の校庭でも弥生土器が採集されています。古墳時代になると、京町に装飾を持った日輪寺古墳が造られますが、古墳時代や奈良・平安時代の暮らしのようすはよくわかっていません。

中世になると、今もたくさんの参詣人でにぎわう長門石町の七木地蔵板碑や京町日輪寺の地蔵菩薩彫像板碑が、約600年前の人々の信仰を伝えています。また、長門石町の町名のもととなった碇石は、筑後川から有明海を通り、長門(山口県)など各地を結んだ船の碇に使われていたと伝えられるもので、当時の交通の様子がかがわれる貴重なものです。さらに、現在の久留米城の元となる小城が築かれ、戦国時代には高良山の関係者が城主だったと伝えられています。

豊臣秀吉の九州征伐が終わると、小早川(毛利)秀包が久留米城主となり、小規模ながら城下町が整えられたようです。秀包は熱心なキリシタン大名で、今の市役所がある場所を調査した両替町遺跡では、当時の教会と考えられる建物の跡や、十字架の模様が入った瓦などが見つかっています。

江戸時代の元和7年(1621)、有馬氏が久留米藩の藩主になると、久留米城を大規模に改修しています。今の久留米城は本丸と堀の一部が残るだけですが、本来は明善高校～商工会議所付近にまで広がっていた大きな城でした。

同時に城下町も整えられ、各校区を江戸時代の地図と合わせてみると、
 篠山校区 … 城内と京隈侍屋敷の一部、築島町や両替町などの町屋
 京町校区 … 京隈侍屋敷と御舟手方、川港があった瀬下町町屋、大石村
 荘島校区 … 荘島侍屋敷と原古賀町町屋、庄島村
 日吉校区 … 十間屋敷・櫛原侍屋敷と通町の町屋
 にそれぞれあたります。篠山小学校に移築された旧三島家長屋門は、城内にあった武家屋敷の名残を伝える貴重な遺構です。

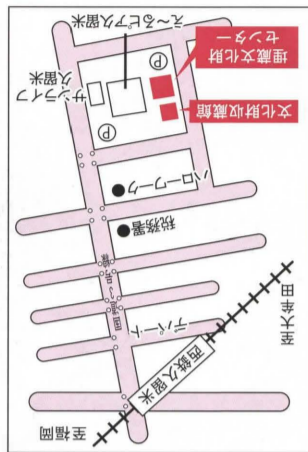
現在、島状となっている長門石・小森野校区は、元々は京町・篠山校区と地続きでしたが、筑後川の洪水を防ぐために、蛇行した筑後川の流れを直線にしたことで島状となったもので、長門石校区は江戸時代の初めに、小森野校区も明治20年から3回行なわれた改修工事によって島状となっています。

これらの校区は、市内でも開発が多く、日々景観が変わりつつある地区ですが、このマップを手にとり歩いてみて下さい。城下町の名残の路地など色々な発見ができるはずです。

長門石・小森野・京町・篠山・荘島・日吉校区の文化財マップ
 平成16年3月31日
 発行：久留米市教育委員会
 編集：教育文化財部文化財保護課
 表紙：篠山小学校に移築された旧三島家長屋門

久留米市埋蔵文化財センター
 E-mail: bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp
 ☎0942-30-9225 FAX0942-30-9718
 久留米市城南町15-3 (市役所16階)
 久留米市埋蔵文化財センター
 ☎0942-34-4995 FAX0942-34-5045
 久留米市諏訪野町1830-6 (えーるビル敷地内)
 《文化財に対するお問い合わせ先》

開館時間：午前9時～午後5時
 休館日：土・日・祝祭日・年末年始
 入館料：無料



久留米市埋蔵文化財センターでは、市内の遺跡から出土した遺物(土器・石器・金属器)や図面・写真などの記録を収蔵・整理・研究するために、平成6年4月にオープンしました。センターでは、資料の貸し出しや文化財に関する相談に応じています。また、『ふるさと歴史とふれあふ展』、春には『文化財フェスタ』、秋には『考古資料展』などのいろいろな企画展を開催し、あわせて体験学習や現地説明会・ナイト映画会など盛りだくさんの企画を行っています。歴史に興味がある方もお気軽にお越しください。お待ちしております。

体験学習「まが玉づくり」のようす



久留米市埋蔵文化財センターのご案内

■こんなにあるぞ！長門石・小森野・京町・篠山・荘島・日吉校区の文化財■

No	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	速水遺跡	弥生時代	弥生時代の竪穴式住居跡と甕棺墓がみつかっています。
2	大石神社遺跡	弥生時代 中世～近世	江戸時代に書かれた、筑後将士軍談によると、今の大石神社の周辺に大石越前守の館があったと伝えられています。
3	瀬の下渡し	江戸時代	筑後川に橋が無かった江戸時代、久留米から佐賀方面に向かうための大切な道でした。
4	京町遺跡	弥生時代	弥生時代の穴や土器のかけらがみつかっています。
5	明善高校校庭遺跡	弥生時代	古くから弥生時代の土器や石器のかけらが拾われています。
6	久留米城外郭遺跡	江戸時代	久留米城内にあたる外郭には、久留米藩の中では最も上級の武士達の屋敷が建ち並んでいました。
7	久留米城下町遺跡	江戸時代	江戸時代、久留米城下に暮っていた町人達の町を久留米城下町遺跡と呼んでいます。城下町遺跡からは、江戸時代の建物の跡や溝・トイレ・貯蔵用の穴・ゴミ穴など様々なものが発見されています。
8	久留米城下町遺跡 両替町遺跡	安土桃山時代 ～江戸時代	現在の市役所庁舎がある場所にあった遺跡で、江戸時代には両替町と言われていました。この遺跡からは安土桃山時代の終わりに建てられたキリスト教会の跡が発見されています。
9	庄島侍屋敷遺跡	江戸時代	当時の下級武士の屋敷や上級武士の中屋敷が建ち並んでいました。
10	柳河往還	江戸時代	江戸時代の初めに田中吉政により久留米城と柳河城を結ぶための道が整備されました。現在の県道久留米柳川線がほぼそれにあたります。
11	櫛原四丁目遺跡	弥生時代	弥生時代の中頃の甕棺墓が出土しています。
12	櫛原侍屋敷遺跡	江戸時代	櫛原周辺は、京町と同じく武士達の屋敷が建ち並ぶ侍屋敷でした。櫛原侍屋敷には、やや上級の武士の屋敷が建ち並んでいたようです。
13	小森野川底遺跡	弥生時代	筑後川の底から、弥生時代の土器や石器のかけらが出土しています。
14	梅林寺川底遺跡	弥生時代	筑後川の底から、弥生時代の土器や石器のかけらが出土しています。